

1.はじめに	
委員長	あいさつ
2. 議事	
(1) 条例(案)について	
① 条例文について	
委員長	議事について事務局より説明を。
事務局	新しい第6次総合振興計画では、「人がつながり市民が躍動する温かみのある都市おごおり ～共感・共働・共創」による共生社会を目指して～という将来像を描いている。庁内での議論の中で、「共生社会」という言葉を題名の中にかかせないかという点があがった。その件について協議してもらいたい。
委員長	まずは前文から。まちの規模や人の関係性をあらわしているものとして、「ちょうどいい。」という表現はどうか。
委員	まちのサイズの何をいっているのか。
事務局	昔から生活が営まれてきた便利さ、ほどよく自然が残っているところ、まちのサイズによる暮らしやすさなど、あらゆるものを含んでいる。
委員	暮らしやすいという言葉に集約できないのか。
委員	「ちょうどいい」は「調和がとれた」ということか。
事務局	「調和がとれた」は均整が保たれている。「ちょうどいい」は人によるの差を含んでいる。
委員長	「ちょうどいい」は後半にも出てくる。そこをふまえると他の言葉は難しいかもしれない。
委員	私は「ちょうどいい」と思ったことがなかったので、意外な言葉だった。しかし、小郡のことを考えてみると自分なりの「ちょうどいい」が見つかった気がする。条例の特色にもなるので残してはどうか。
委員長	委員会としては、「ちょうどいい」を残す方向で。
委員	「ちょうどいい」は、小郡のことを考えるきっかけになる言葉だと思うので残していいと思う。
委員	「ちょうどいい」「ちょうどよい」どちらか表記が正しいか。
事務局	確認します。
委員	私が小郡の知人と小郡のことを話すとき「ちょうどいい」という言葉で表現することがある。私の住むまちではそう言わない。

委員	「ちょうどいい」は、プラスのイメージだと思う。
事務局	「ちょうどいい」には、暮らしやすさも含まれている。この条例は、言葉の中にある余白を大切にしてきた。
委員	まちづくりが100点にじゃなくても「ちょうどいい」と考えられるのは、いいことかもしれない。
委員	第3条の2の部分「に関わらず」はなくていい。「事業の営み」「通勤・通学」より順番は前じゃないか。
事務局	「居住・事業の営み・通勤・通学・訪問など」に並べ替えてはどうか。
委員	次に第4条の1の文末の表現は正しいのか。
事務局	「関わりましょう。」という表現が正しい。資料の修正ができていなかった。
委員	前文の冒頭。決意の部分に「まちにする。」という表現は何か意味があるのか。
事務局	強調したかった。
委員	第5条の解説文「新たな移住者」はおかしい。 最後の第9条の解説文「わかりやすく」ではないか。
事務局	修正します。
委員長	前回、「みんなでまちづくり(活動)をすすめる」条例と仮題がついた。 (活動)という表現はどうするか。共生社会をどうもっていくか。 私は(活動)を除いてもいいと思っている。
委員	ひらがなは柔らかくていい。
委員	「共生社会を目指してみんなでまちづくりをすすめる条例」にしたらいいか。
委員	「みんなで」に共生社会が含まれていると考えていいのではないか。
委員長	「みんなで」の中には障がいのある方、家族や外国人など、それを含めるという話をしてきたと思う。
委員	前文になら含むことができるのでは。
委員長	タイトルに入れるのは無理があるのでは。
委員	前文もしくは目的に含むといいのでは。
委員長	市からの提案ではあるが、委員会としては前文もしくは目的に含むということていかがだろうか。
事務局	委員会の思いをふまえ、庁内で議論したい。
委員	「共生社会」という言葉は難しい。わかりやすい言葉を大切にしたい。
委員	条例にサブタイトルはつけられるのか。
事務局	前回も話題になったが、「チーム小郡のやくそく」など、柔軟にできる。
委員	目的部分の「幸せを感じられるまち」を実現するのはハードルが高く感じないか。 「安心して住み続けられるまち」などにしてはどうか。
委員	「安心して住み続けられる」より高揚してる言葉がいい気がする。

委員	「幸せ」も余白があつていいのでは。
事務局	共生の先にある感情的なものを表現したかった。
委員	それぞれが「幸せ」だと思えるものを目指すということでもいいのでは。
委員	「幸福」という表現はどうか。
委員長	「幸福」も「ちょうどいい」と同じような感覚でいいのでは。
委員	目的が全体的に少し読みにくいので調整を。
委員	4条2項について、「関心を持ち」「状況や思いを正しく知り」「協力する」ではないか。
事務局	整理する。解説には団体の思いを書きたい。
委員	第5条の地域コミュニティの役割の部分、「透明性の高い」という表現は他にないのか。
事務局	「身近でわかりやすい組織に努めます」として、解説に足りない部分をいれたい。
委員	見出しの「取組」という表記になるが、動詞には送り仮名が必要。子供が読むとすると「取組」の表記は難しい。
事務局	行政文書のルールもあるので、その他の手段も考えたい。
委員長	条例文の細かいところは法制とも確認してもらおう。共生社会という表現は委員会としては前文と目的に含めるという意見としたい。
2. 今後のスケジュールについて	
(2) 今後のスケジュールについて	
事務局	説明
3. その他	
4. 連絡	
5. おわりに	
副委員長	あいさつ